



2024年5月10日

各 位

会社名 **トランコム株式会社**  
コード番号 9058 (東証プライム・名証プレミア)  
代表者 代表取締役 社長執行役員 神野 裕弘  
問合せ先 執行役員 広報・IR担当 白木あゆみ  
TEL 052-939-2011

(訂正)

「2024年3月期 決算説明資料」の一部訂正について

当社は、2024年5月7日に公表しました「2024年3月期 決算説明資料」について、一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせいたします。

記

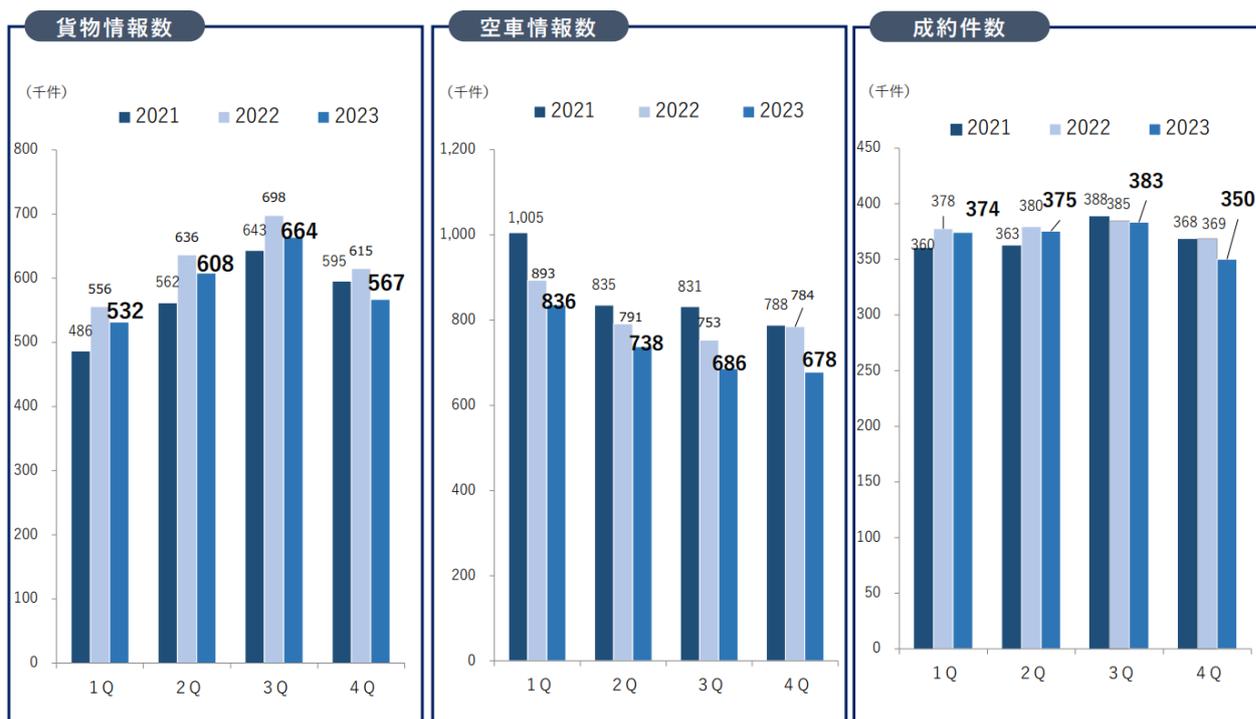
### 1. 訂正の理由

2024年5月7日に公表した「2024年3月期 決算説明資料」につきまして、物流情報サービス事業情報数において、2021年度、2022年度実績グラフ数値に誤りがあったため、訂正するものであります。

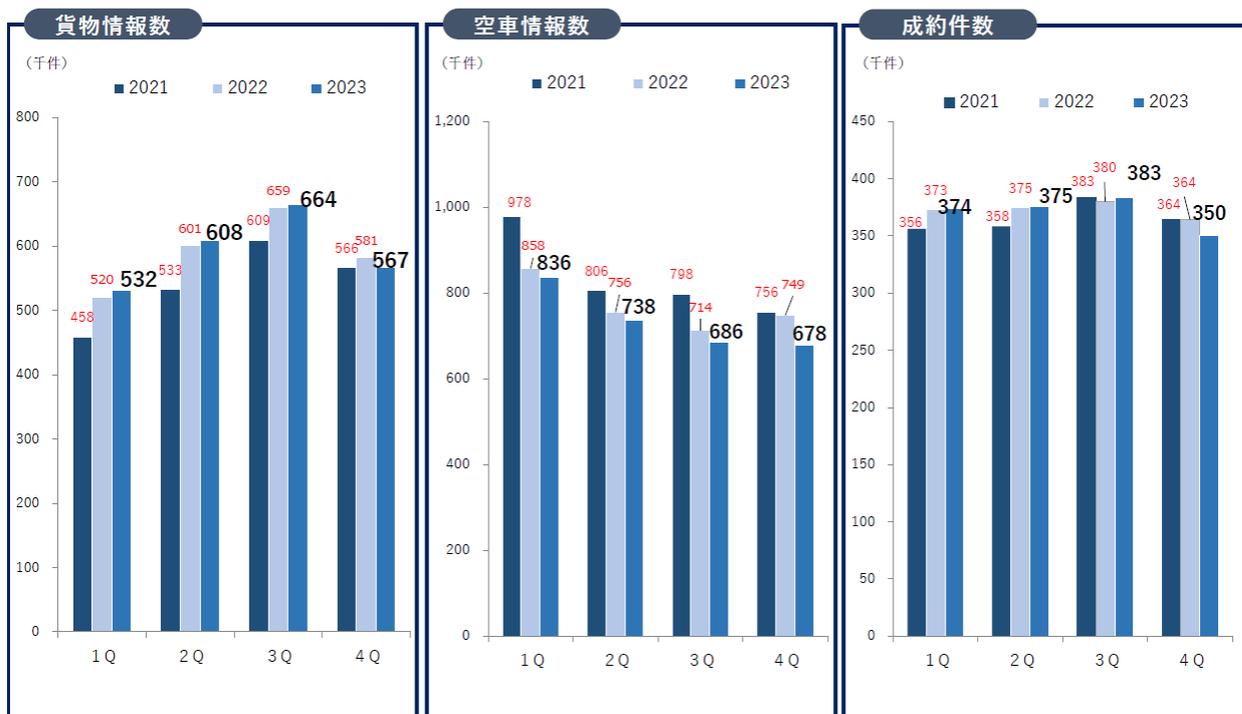
### 2. 訂正内容

27 ページ参考資料 物流情報サービス事業情報数における、貨物情報数、空車情報数、成約件数の2021年度、2022年度のグラフ記載の数値に誤りがありましたので訂正いたします。訂正内容は以下のとおりです。

(訂正前)



(訂正後)



以上



# 2024年3月期 決算説明資料

トランコム株式会社（証券コード 9058）

2024年5月2日

更新日 2024年5月10日

訂正箇所 27ページ「物流情報サービス事業情報数」

# 目次

1. 2024年3月期（2023年度）連結業績概要
2. 2025年3月期（2024年度）重点取り組み
3. トランコムグループの今後の事業展開

- 1. 2024年3月期（2023年度）連結業績概要**
2. 2025年3月期（2024年度）重点取り組み
3. トランコムグループの今後の事業展開

- ✓ 売上高  
LM事業の新規拠点・新規業務稼働により増収
- ✓ 営業利益  
LM事業の新規立ち上げコスト、物情事業の支払い単価上昇、IS事業の稼働人員減少により減益
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益  
前期海外拠点の減損による特別損失を計上したことにより、増益

(単位：百万円)			2023年3月期	利益率	2024年3月期	利益率	前年差	前年比
売	上	高	167,760		169,410		+1,650	+1.0%
営	業	利 益	7,438	4.4%	7,020	4.1%	△417	△5.6%
経	常	利 益	7,573	4.5%	7,152	4.2%	△420	△5.5%
親会社株主に帰属する当期純利益			3,835	2.3%	4,546	2.7%	+711	+18.6%

# 2024年3月期通期セグメント別業績



(単位：百万円)

	2023年3月期	構成比	2024年3月期	構成比	前年差	前年比
<b>売上高</b>	<b>167,760</b>		<b>169,410</b>		+1,650	+1.0%
ロジスティクスマネジメント事業	54,751	32.3%	56,648	33.1%	+1,896	+3.5%
物流情報サービス事業	92,720	54.7%	92,639	54.1%	△81	△0.1%
インダストリアルサポート事業	5,764	3.4%	5,736	3.3%	△28	△0.5%
その他事業	16,185	9.6%	16,224	9.5%	+38	+0.2%
連結消去	△1,661	—	△1,837	—	△175	—

	2023年3月期	利益率	2024年3月期	利益率	前年差	前年比
<b>営業利益</b>	<b>7,438</b>	4.4%	<b>7,020</b>	4.1%	△417	△5.6%
ロジスティクスマネジメント事業	4,116	7.5%	3,950	7.0%	△166	△4.0%
物流情報サービス事業	2,647	2.9%	2,252	2.4%	△395	△14.9%
インダストリアルサポート事業	274	4.8%	151	2.6%	△123	△45.0%
その他事業	701	4.3%	770	4.7%	+68	+9.8%
連結消去	△302	—	△103	—	+198	—

# 2024年3月期通期セグメント別業績（半期別）



(単位：百万円)

2023年3月期

2024年3月期

業績予想

上半期 下半期 通期

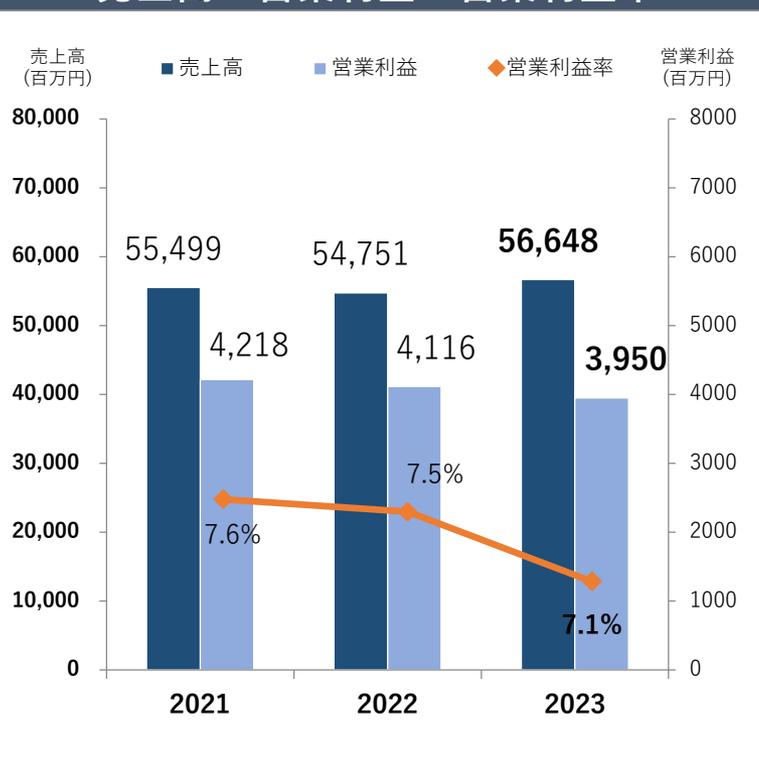
上半期 前期比 下半期 前期比 通期 前期差 前期比

通期 予想比

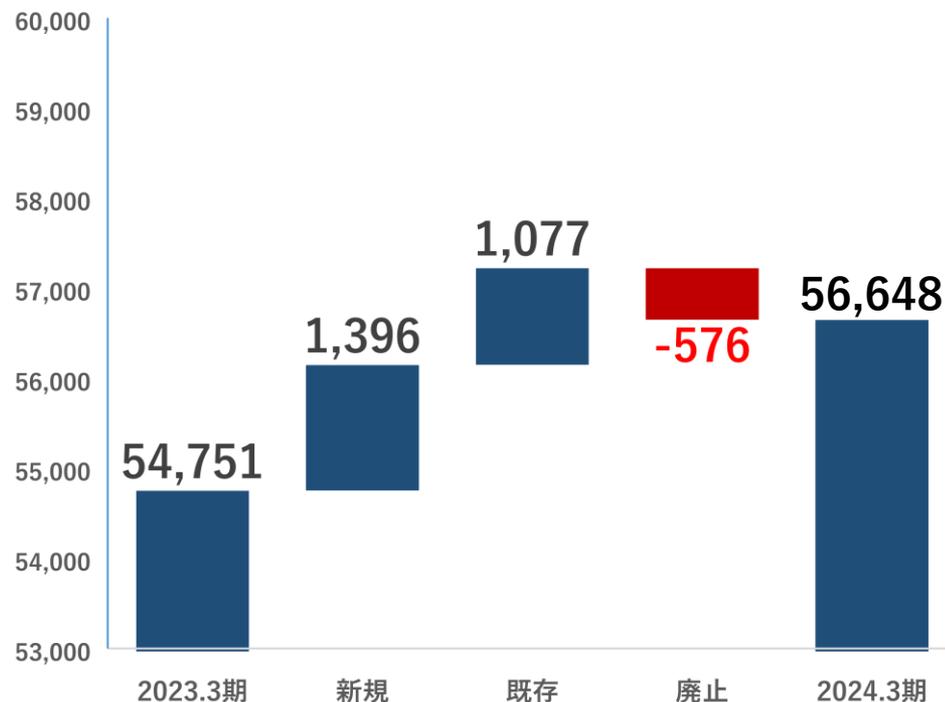
		2023年3月期			2024年3月期						業績予想			
		上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期差	前期比	通期	予想比	
連結合計	売上高	83,889	83,871	167,760	83,868	△0.0%	85,542	+2.0%	169,410	+1,650	+1.0%	171,770	△2,359	△1.4%
	営業利益	3,673	3,764	7,438	3,632	△1.1%	3,388	△10.0%	7,020	△417	△5.6%	7,100	△79	△1.1%
	(売上高比)	(4.4%)	(4.5%)	(4.4%)	(4.3%)	(△0.1P)	(4.0%)	(△0.5P)	(4.1%)		(△0.3P)	(4.1%)		(△0.0P)
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	27,265	27,486	54,751	27,756	+1.8%	28,891	+5.1%	56,648	+1,896	+3.5%	55,880	+768	+1.4%
	営業利益	2,005	2,110	4,116	2,054	+2.4%	1,896	△10.2%	3,950	△166	△4.0%	4,010	△59	△1.5%
	(売上高比)	(7.4%)	(7.7%)	(7.5%)	(7.4%)	(+0.0P)	(6.6%)	(△1.1P)	(7.0%)		(△0.5P)	(7.2%)		(△0.2P)
物流情報 サービス事業	売上高	46,207	46,512	92,720	46,192	△0.0%	46,446	△0.1%	92,639	△81	△0.1%	95,120	△2,480	△2.6%
	営業利益	1,315	1,332	2,647	1,110	△15.6%	1,142	△14.2%	2,252	△395	△14.9%	2,290	△37	△1.6%
	(売上高比)	(2.8%)	(2.9%)	(2.9%)	(2.4%)	(△0.4P)	(2.5%)	(△0.4P)	(2.4%)		(△0.5P)	(2.4%)		(△0.0P)
インダストリアル サポート事業	売上高	2,894	2,869	5,764	2,875	△0.7%	2,860	△0.3%	5,736	△28	△0.5%	6,240	△503	△8.1%
	営業利益	153	120	274	60	△60.4%	90	△25.4%	151	△123	△45.0%	200	△48	△24.5%
	(売上高比)	(5.3%)	(4.2%)	(4.8%)	(2.1%)	(△3.2P)	(3.2%)	(△1.0P)	(2.6%)		(△2.2P)	(3.2%)		(△0.6P)
その他	売上高	8,289	7,896	16,185	7,911	△4.6%	8,312	+5.3%	16,224	+38	+0.2%	16,190	+34	+0.2%
	営業利益	394	307	701	458	+16.3%	311	+1.5%	770	+68	+9.8%	710	+60	+8.5%
	(売上高比)	(4.8%)	(3.9%)	(4.3%)	(5.8%)	(+1.0P)	(3.7%)	(△0.2P)	(4.7%)		(+0.4P)	(4.4%)		(+0.3P)
連結消去	売上高	△767	△893	△1,661	△867	-	△969	-	△1,837	△175	-	△1,660	△177	-
	営業利益	△196	△106	△302	△51	-	△51	-	△103	+198	-	△110	+6	-
	(売上高比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- ✓ 前期立ち上げ業務の通期寄与及び課題事業所の収益改善
- ✓ 新規顧客業務の稼働
- ✓ 環境変化への対応：料金改定/交渉（人件費・原価上昇）
- ✓ 事業成長に向けた戦略拠点 C-AREA 開設

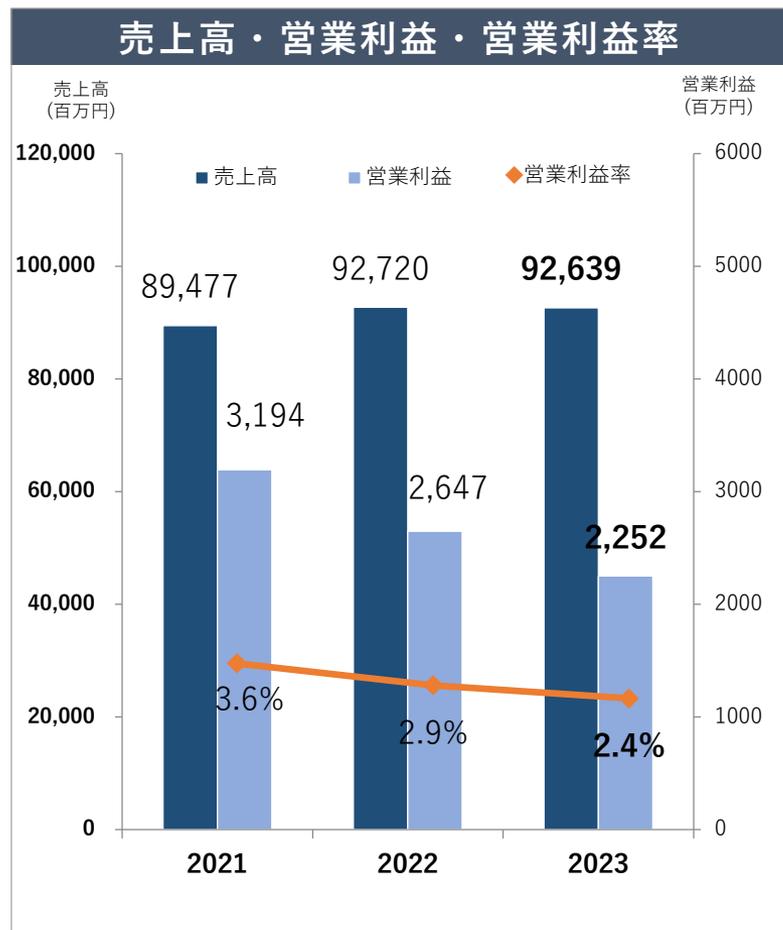
## 売上高・営業利益・営業利益率



## 売上高増減 単位：百万円



- ✓ 荷動きの低迷（特に第4四半期）により成約件数は0.6%減
- ✓ 運賃単価は上昇、2024年問題を見据えて支払い単価上昇



### 主な指標

前年同期比	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
貨物情報数	2.2%増	1.2%増	0.7%増	2.5%減
空車情報数	2.6%減	2.4%減	4.0%減	9.5%減
成約件数	0.3%増	0.2%増	0.9%増	3.8%減

▼ 600km超の距離区分

貨物情報数	3.8%増	3.0%増	2.5%増	4.5%減
空車情報数	6.7%減	4.9%減	10.0%減	13.6%減
成約件数	0.1%増	0.9%減	2.0%減	7.1%減

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
生産性人員	566名	612名	593名
拠点数	45拠点	49拠点	51拠点

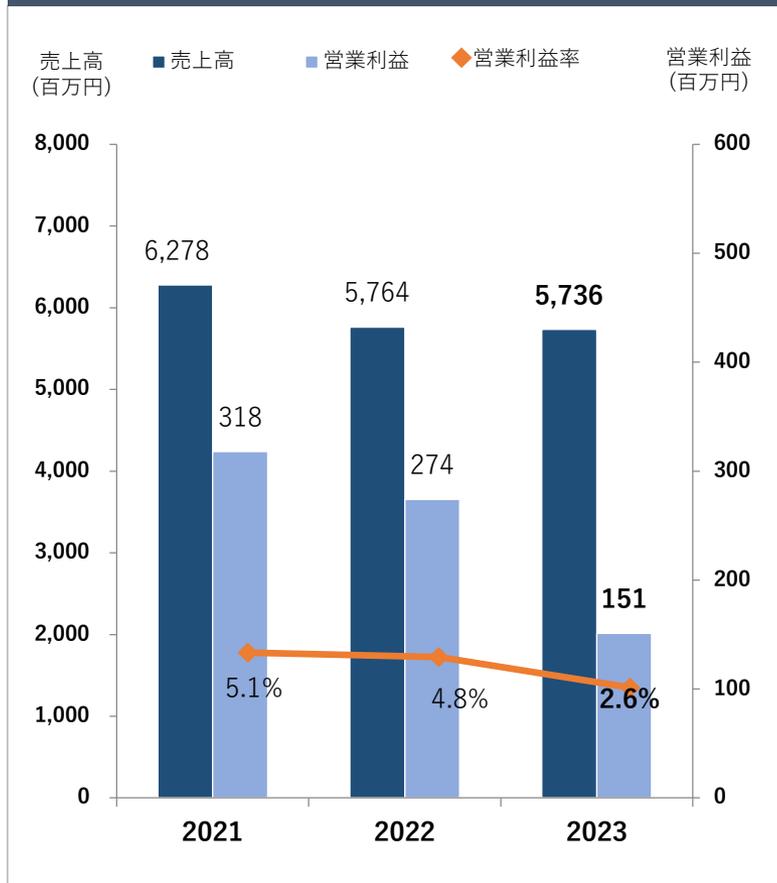
## インダストリアルサポート事業

✓ 派遣事業における稼働人員減少

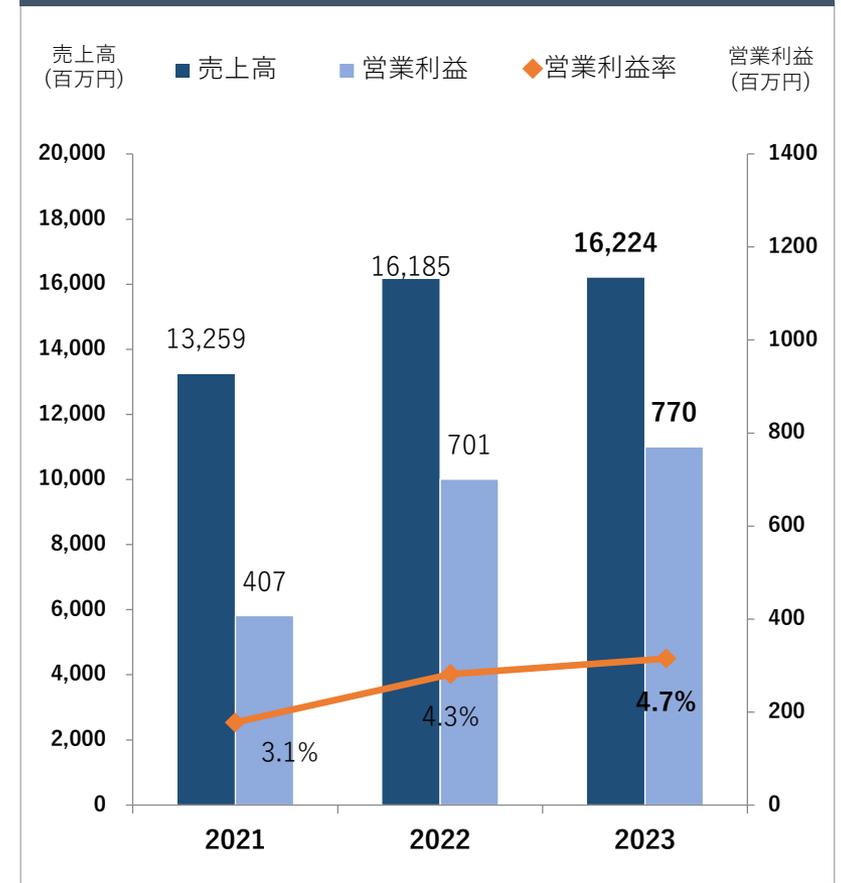
## その他

✓ マレーシアへ進出、為替影響

### 売上高・営業利益・営業利益率



### 売上高・営業利益・営業利益率



✓ 売上高

LM事業の新規拠点稼働及び物流情報サービス事業の成約件数増加により増収計画

✓ 営業利益

上期は新規立ち上げ拠点の初期コストを見込み減益を計画  
下期は増益を見込み、通期は前年同等額を計画

(単位：百万円)	2024年3月期	利益率	2025年3月期	利益率	前年差	前年比
売上高	169,410		173,670		+4,259	+2.5%
営業利益	7,020	4.1%	7,070	4.1%	+49	+0.7%
経常利益	7,152	4.2%	7,040	4.1%	△112	△1.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,546	2.7%	4,550	2.6%	+3	+0.1%

# 2025年3月期業績予想（セグメント別）



(単位：百万円)

	2024年3月期	構成比	2025年3月期	構成比	前年差	前年比
<b>売上高</b>	<b>169,410</b>		<b>173,670</b>		<b>+4,259</b>	<b>+2.5%</b>
ロジスティクスマネジメント事業	56,648	33.1%	58,470	33.0%	+1,821	+3.2%
物流情報サービス事業	92,639	54.1%	94,670	54.3%	+2,030	+2.2%
インダストリアルサポート事業	5,736	3.3%	5,490	3.1%	△246	△4.3%
その他事業	16,224	9.5%	16,880	9.6%	+655	+4.0%
連結消去	△1,837	—	△1,840	—	△2	—

	2024年3月期	利益率	2025年3月期	利益率	前年差	前年比
<b>営業利益</b>	<b>7,020</b>	<b>4.1%</b>	<b>7,070</b>	<b>4.1%</b>	<b>+49</b>	<b>+0.7%</b>
ロジスティクスマネジメント事業	3,950	7.0%	4,030	6.9%	+79	+2.0%
物流情報サービス事業	2,252	2.4%	2,360	2.5%	+107	+4.8%
インダストリアルサポート事業	151	2.6%	140	2.6%	△11	△7.3%
その他事業	770	4.7%	650	3.9%	△120	△15.6%
連結消去	△103	—	△110	—	△6	—

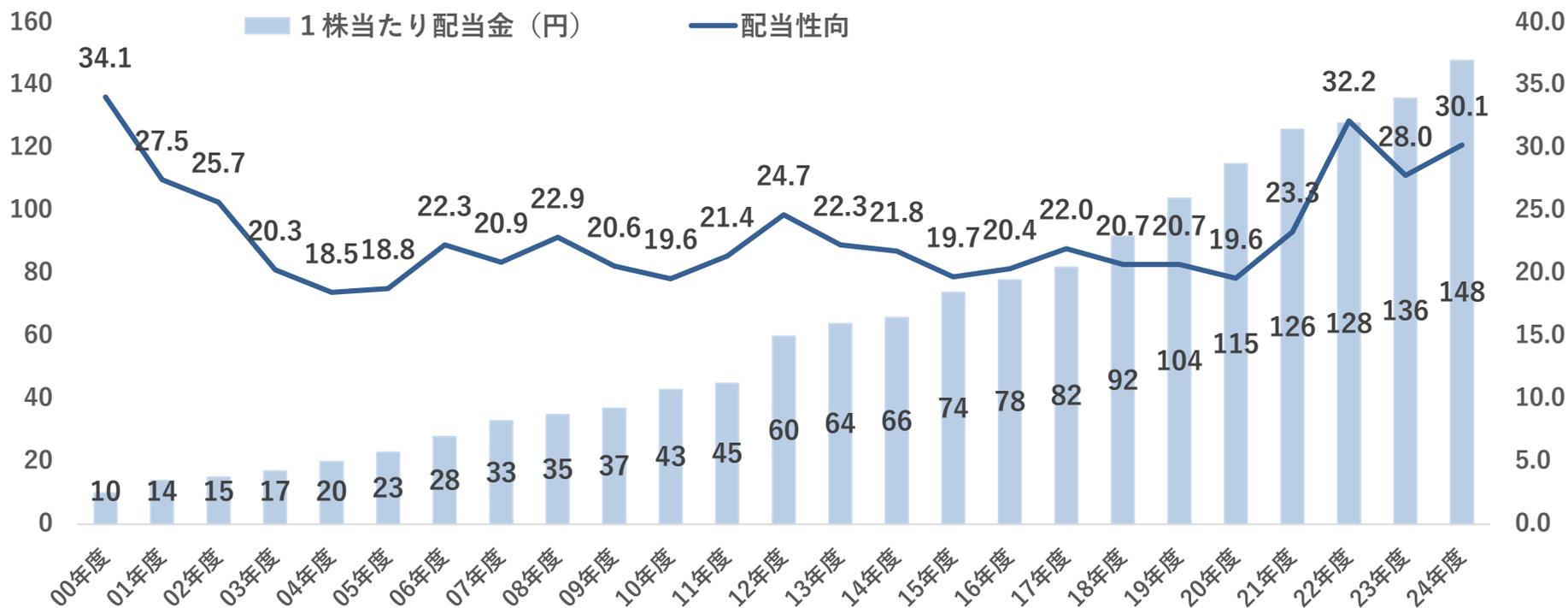
# 2025年3月期業績予想（半期別）



		2024年3月期			2025年3月期						
		上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期差	前期比
連結合計	売上高	83,868	85,542	169,410	83,860	△0.0%	89,810	+5.0%	173,670	+4,259	+2.5%
	営業利益	3,632	3,388	7,020	3,080	△15.2%	3,990	+17.8%	7,070	+49	+0.7%
	(売上高比)	(4.3%)	(4.0%)	(4.1%)	(3.7%)	(△0.6P)	(4.4%)	(+0.4P)	(4.1%)		(+0.0P)
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	27,756	28,891	56,648	28,660	+3.3%	29,810	+3.2%	58,470	+1,821	+3.2%
	営業利益	2,054	1,896	3,950	1,700	△17.2%	2,330	+22.9%	4,030	+79	+2.0%
	(売上高比)	(7.4%)	(6.6%)	(7.0%)	(5.9%)	(△1.5P)	(7.8%)	(+1.2P)	(6.9%)		(△0.1P)
物流情報 サービス事業	売上高	46,192	46,446	92,639	45,460	△1.6%	49,210	+6.0%	94,670	+2,030	+2.2%
	営業利益	1,110	1,142	2,252	1,100	△0.9%	1,260	+10.3%	2,360	+107	+4.8%
	(売上高比)	(2.4%)	(2.5%)	(2.4%)	(2.4%)	(+0.0P)	(2.6%)	(+0.1P)	(2.5%)		(+0.1P)
インダストリアル サポート事業	売上高	2,875	2,860	5,736	2,700	△6.1%	2,790	△2.5%	5,490	△246	△4.3%
	営業利益	60	90	151	50	△17.8%	90	△0.2%	140	△11	△7.3%
	(売上高比)	(2.1%)	(3.2%)	(2.6%)	(1.9%)	(△0.2P)	(3.2%)	(+0.0P)	(2.6%)		(+0.0P)
その他	売上高	7,911	8,312	16,224	7,950	+0.5%	8,930	+7.4%	16,880	+655	+4.0%
	営業利益	458	311	770	290	△36.8%	360	+15.6%	650	△120	△15.6%
	(売上高比)	(5.8%)	(3.7%)	(4.7%)	(3.6%)	(△2.2P)	(4.0%)	(+0.3P)	(3.9%)		(△0.8P)
連結消去	売上高	△867	△969	△1,837	△910	-	△930	-	△1,840	△2	-
	営業利益	△51	△51	△103	△60	-	△50	-	△110	△6	-
	(売上高比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- ・ 安定的な配当、業績に応じた配当水準の向上に努める
- ・ 配当性向の引き上げを目指す

## 配当金の推移



# 目次

1. 2024年3月期（2023年度）連結業績概要
2. 2025年3月期（2024年度）重点取り組み
3. トランコムグループの今後の事業展開

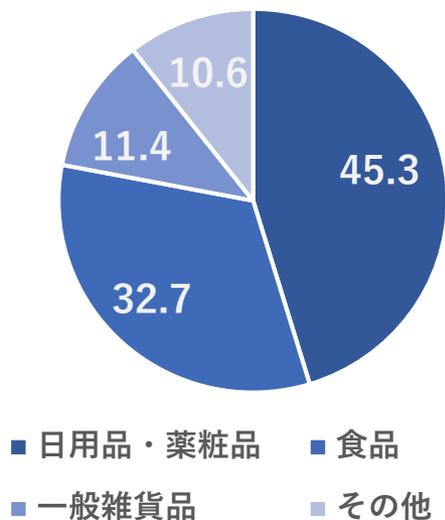
## ロジスティクスマネジメント事業

- 顧客に寄り添い物流の全体最適を構築運営
- 生活衛生品、日用品、食品の物流に注力  
※以下グラフ参照
- 物量波動に対してレイバーコントロール

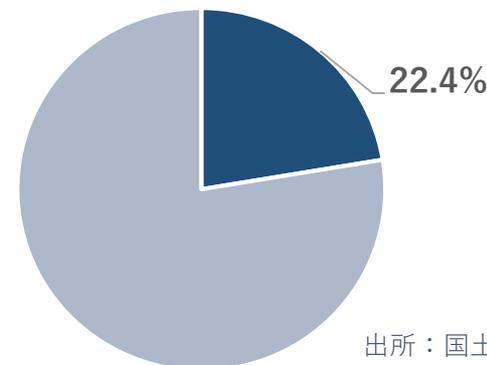
## 物流情報サービス事業

- 全国で輸送パートナーネットワークを構築  
約13,000社の輸送パートナーと取引  
※以下グラフ参照
- 物量波動に柔軟に対応
- スポット貨物から定期貨物まで幅広く対応
- オープンプラットフォームで、必要な時に  
だけ気軽に利用

カテゴリ別売上高



国内運送事業者数  
当社の取引者数割合



出所：国土交通省  
2023年3月31日時点

## ロジスティクスマネジメント事業

### サプライチェーンの変化を的確に捉えた主体的な物流提案と実行

#### 1 物流現場運営力の強化、業務効率化によるオペレーション基盤づくり

- ・ 安全・品質の徹底
- ・ DXによる物流センター内業務の作業効率化、適正な運行管理と運行効率化
- ・ 庫内作業の自動化・省人化

#### 2 コスト上昇による取引の適正化

- ・ 人件費やパートナー企業への支払いを改善

#### 3 日用品・食品・自動車業界を注力ターゲットとした営業強化

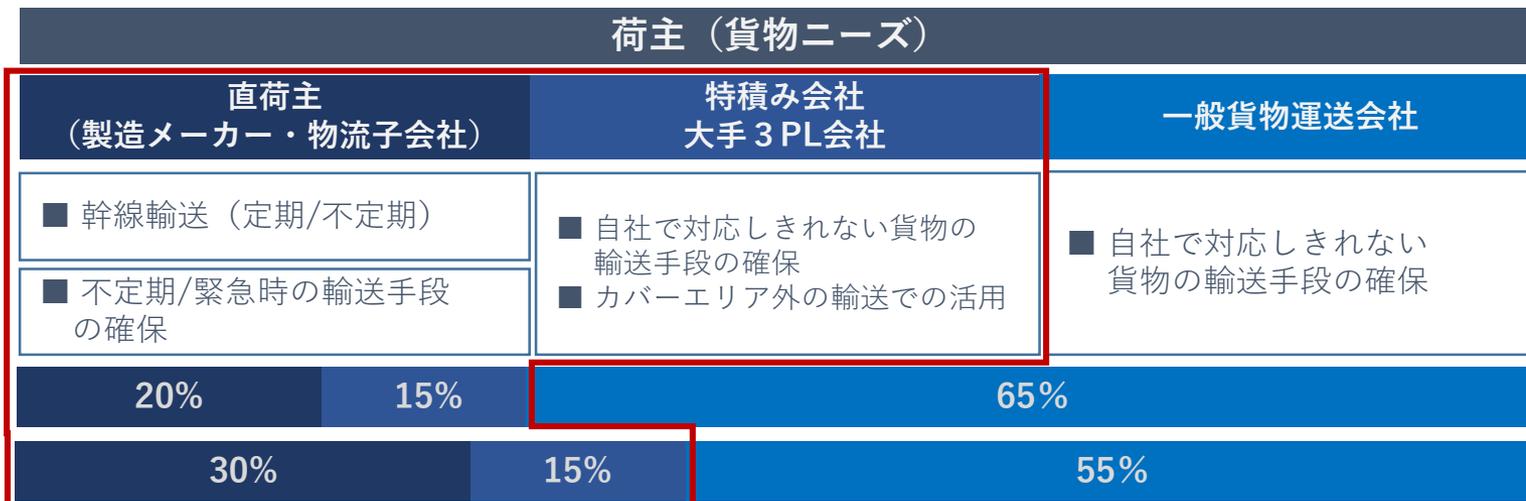
- ・ 既存顧客の深耕営業による業務領域の拡充
- ・ 日用品、食品、自動車業界を注力ターゲットとした新規営業

## 物流情報サービス事業

### 荷主の取引構造変化、適正取引により、強固な事業基盤づくり

#### 1 直荷主を営業注力ターゲットとし、輸送量を増大

- ・ 物流情報サービス事業での同一荷主の定期貨物の拡充（増便・エリア拡大）
- ・ ロジスティクスマネジメント事業の既存顧客の幹線輸送受託



#### 2 運賃水準の引き上げによる取引の適正化

- ・ パートナー関係強化のための支払い運賃の上昇と、荷主への価格転嫁バランスを再考

# 目次

1. 2024年3月期（2023年度）連結業績概要
2. 2025年3月期（2024年度）重点取り組み
3. **トランコムグループの今後の事業展開**

業界環境が変わる 法規制が厳しくなる

輸送能力不足

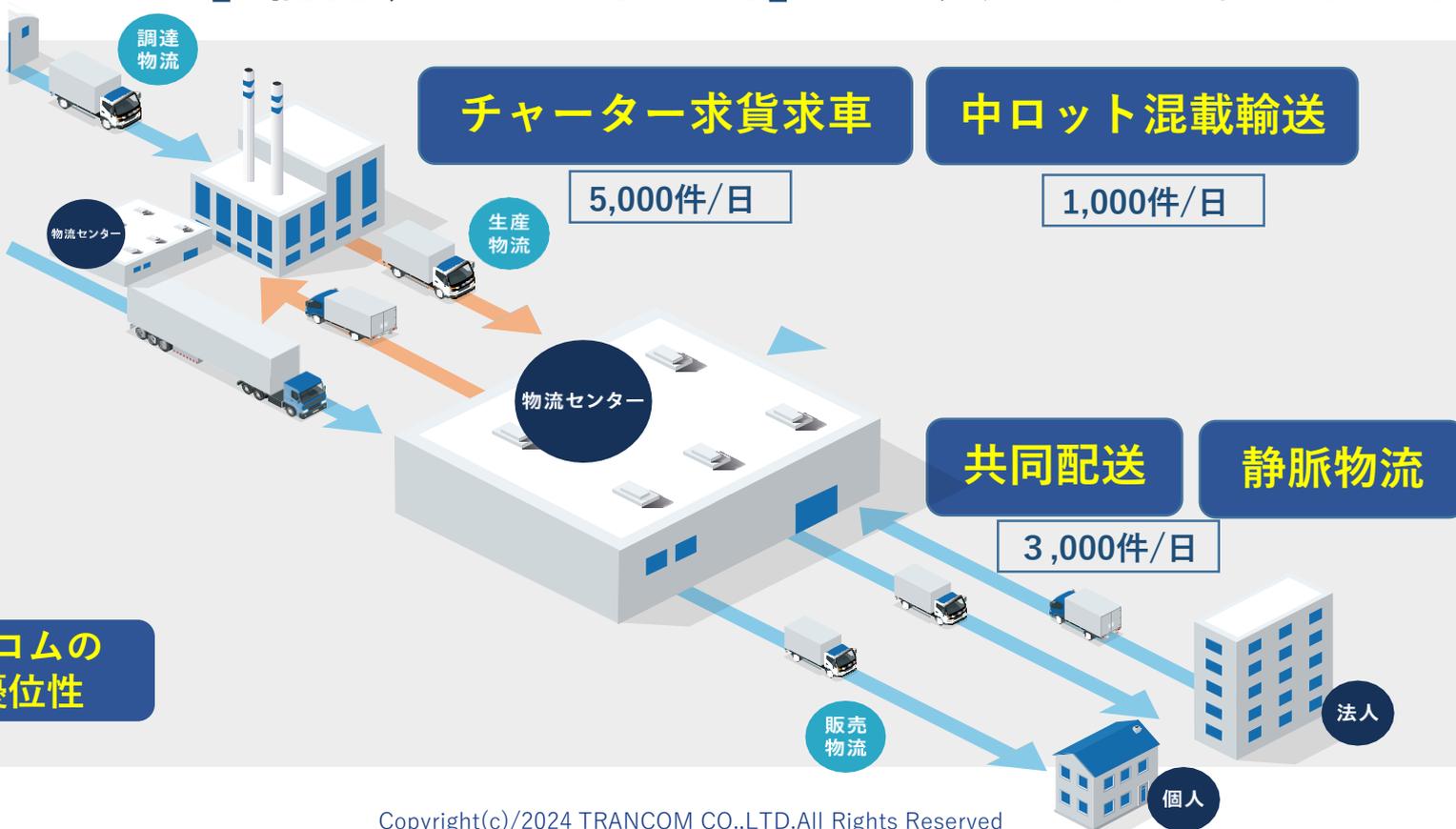
輸送コスト上昇

荷主企業による  
物流効率化が進む

物量の波動が減少

協同化がより進む

「はこぶ」能力、「はこびかた」の工夫 がより求められる



TRANCOMの  
競争優位性

## 1 中距離を注力領域にした、サービスの質の向上

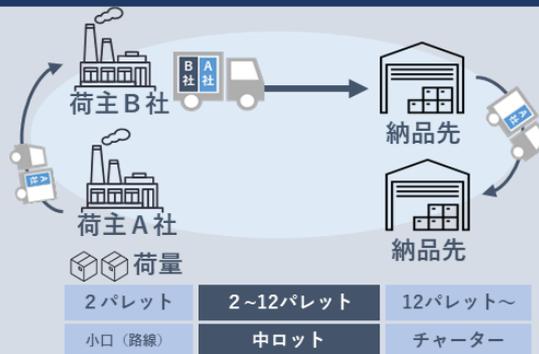
- ・ 長距離が走れなくなる
- ・ 荷主による物流効率化が進む

中距離輸送ニーズが高まる

### 直荷主の取引拡大



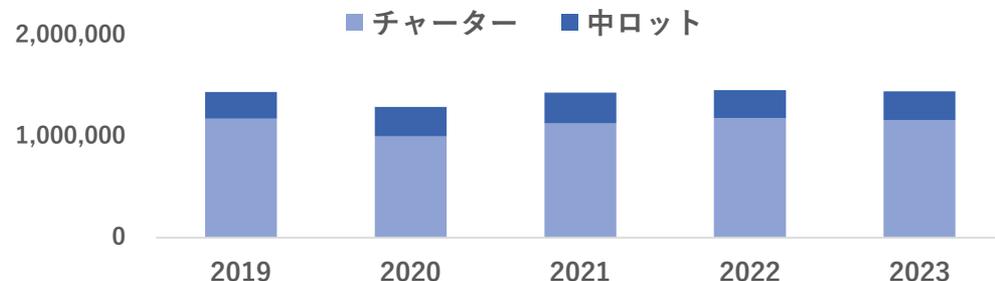
### 中ロット輸送の拡充



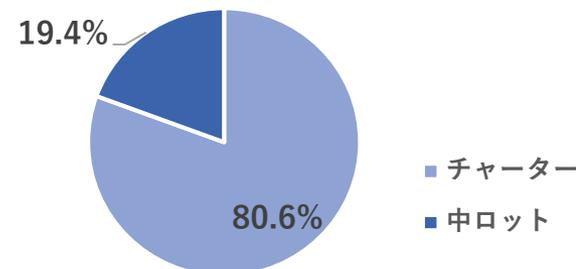
### 情報センター再配置



運び方別成約件数 (単位：件)



2023年度の中ロット成約割合



## 2 日用品・食品・自動車部品物流プラットフォームの構築

- ・ 長距離が走れなくなる
- ・ 荷主による物流効率化が進む
- ・ 労働力不足

消費地にもものを集める 業界ごとでまとめる パレット化が進む

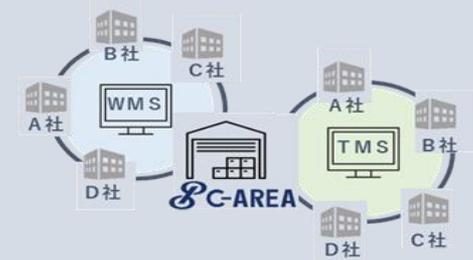
### 共同化に対応した 物流センター運営



### 共同配送ネットワーク



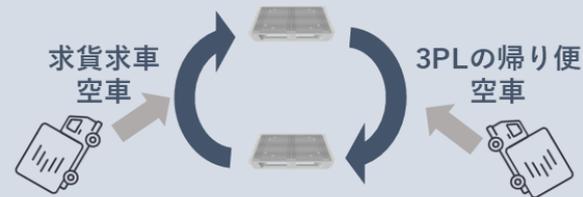
### 共同化に対応した ITシステム



### 共同化に対応した 業務自動化



### 静脈物流 (パレット回収)

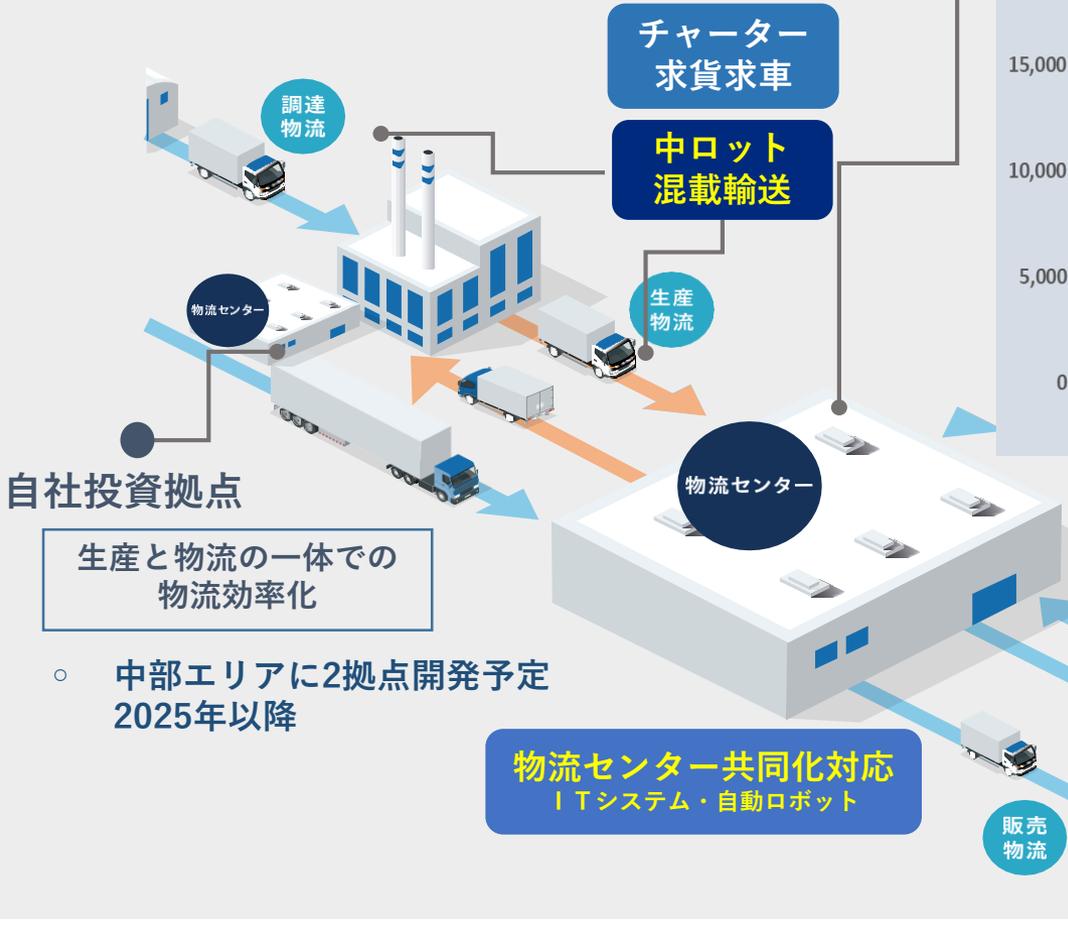
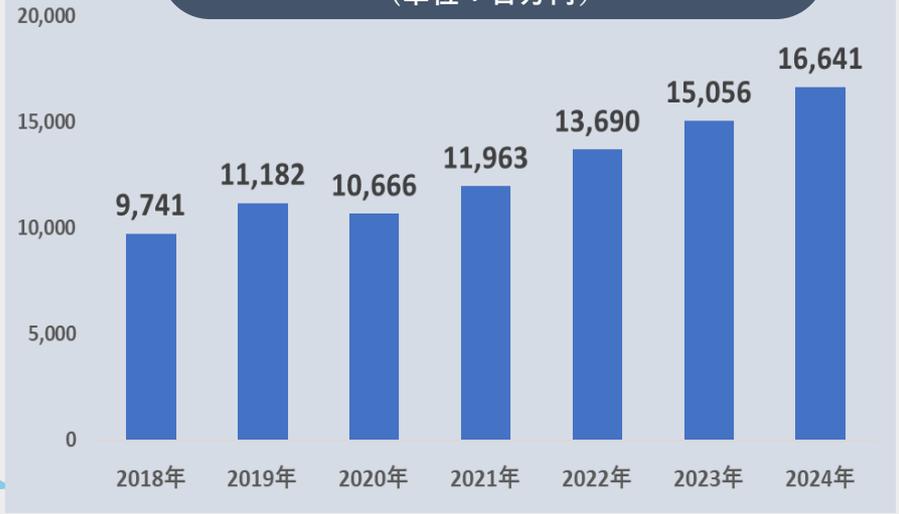


# 今後の事業展開：拠点展開



PC-AREA

2018年度以降の戦略拠点売上高推移  
(単位：百万円)



- 中部エリアに2拠点開発予定  
2025年以降

# 今後の事業展開：ロジスティクスマネジメント事業



## 関西エリア

PC-AREA 西淀川 PC-AREA 茨木

日用品

既存  
拠点



床面積 3,200坪

日用品

2024年8月  
開設予定



床面積 11,525坪

## 北関東エリア

PC-AREA 蓮田 PC-AREA 久喜

日用品

2021年  
7月~



床面積 23,787坪

菓子

既存  
拠点



床面積 6,869坪

## 九州エリア

PC-AREA 久山

菓子

既存  
拠点



床面積 2,330坪

## 中部エリア

PC-AREA 東海 PC-AREA 一宮

自動車部品

既存  
拠点



床面積 6,819坪

日用品・加食

2023年  
10月~



床面積 9,519坪

## 南関東エリア

PC-AREA 厚木

日用品・菓子・加食

2023年  
7月~



床面積 7,461坪



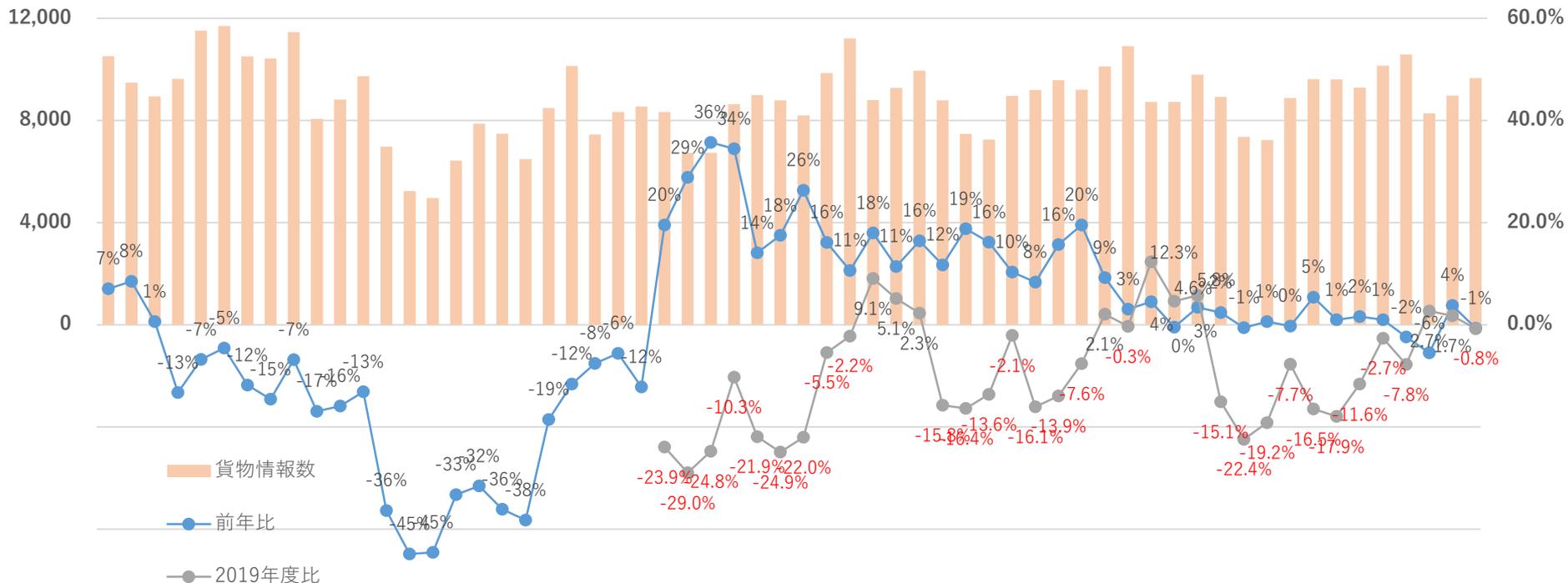
今後の展開エリア

# 参考資料

# 物流情報サービス事業状況



2019年4月以降の日当たり貨物情報件数と、前年・前々年同月増減率



2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度							
4月	6月	8月	10月	12月	2月	4月	6月	8月	10月	12月	2月	4月	6月	8月	10月	12月	2月	4月	6月	8月	10月	12月	2月

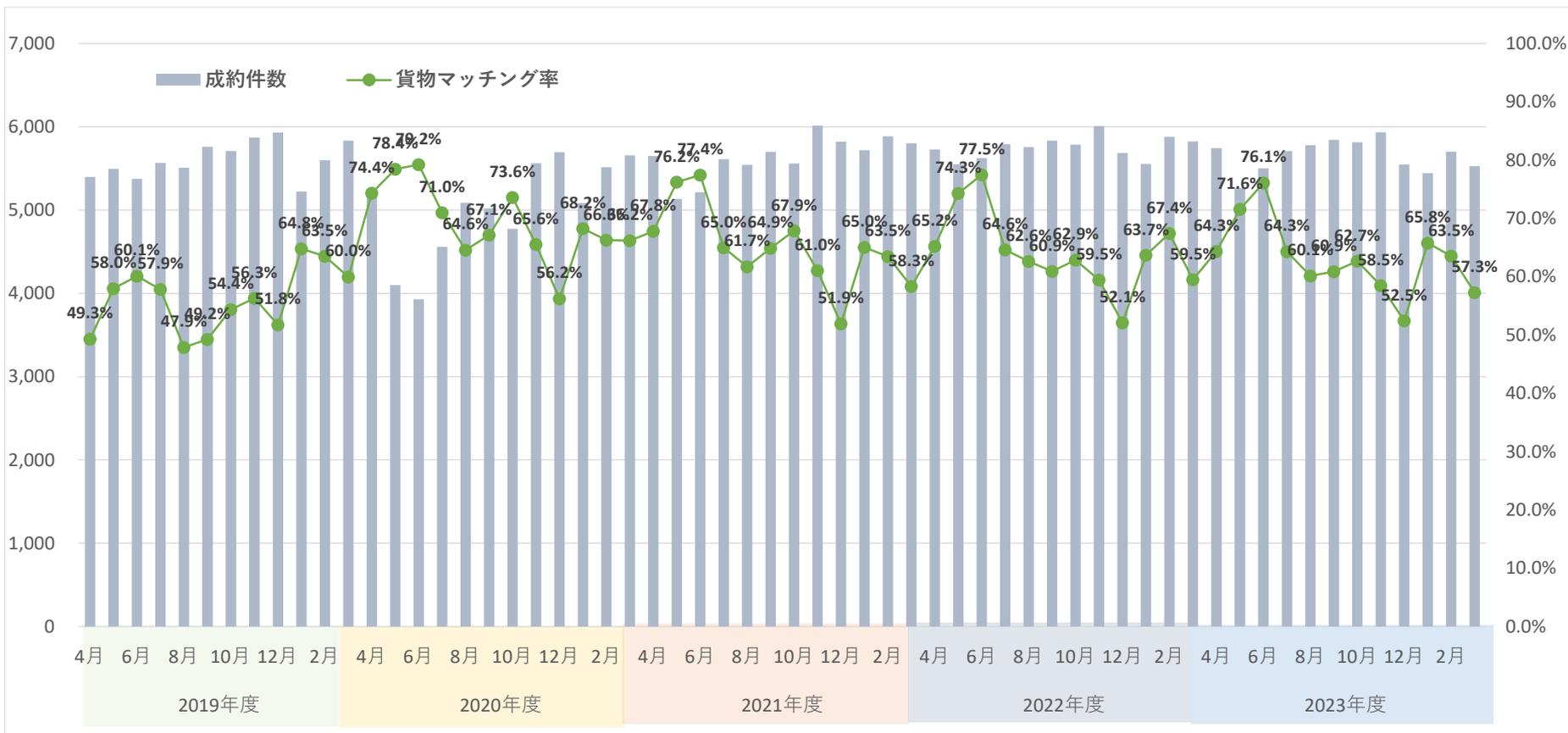
-1.8%	-12.9%	-37.6%	-16.7%	+23.2%	+15.6%	+13.3%	+6.4%	-3.6%	-5.9%
				-23.1%	-3.7%	-12.9%	+2.4%	-16.3%	-3.6%

半期ごとの増減率  
(上段：前年比 下段：2019年比)

# 物流情報サービス事業状況



## 2019年4月以降の日当たり成約件数と、貨物マッチング率



### 半期ごとの貨物マッチング率

53.4%

57.8%

71.9%

65.5%

68.9%

61.1%

63.5%

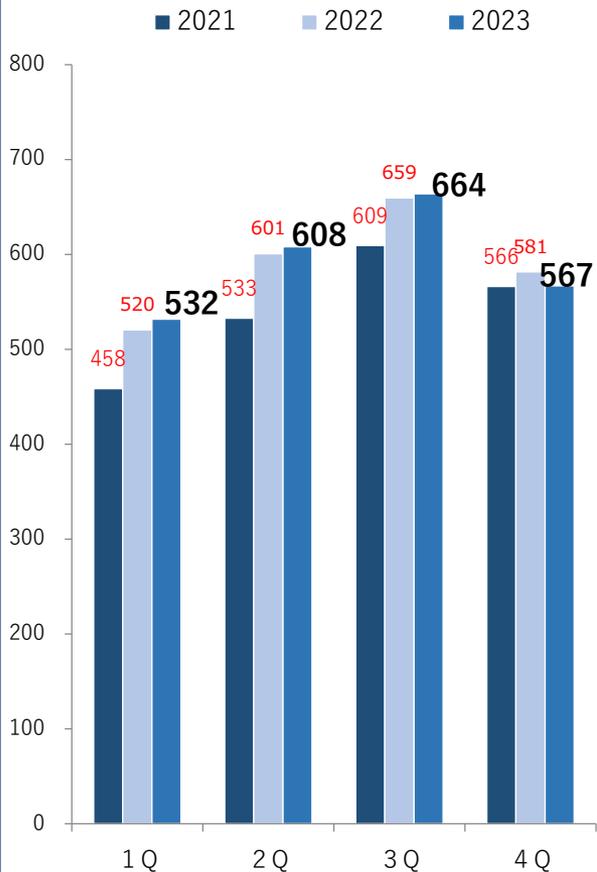
57.4%

66.1%

59.6%

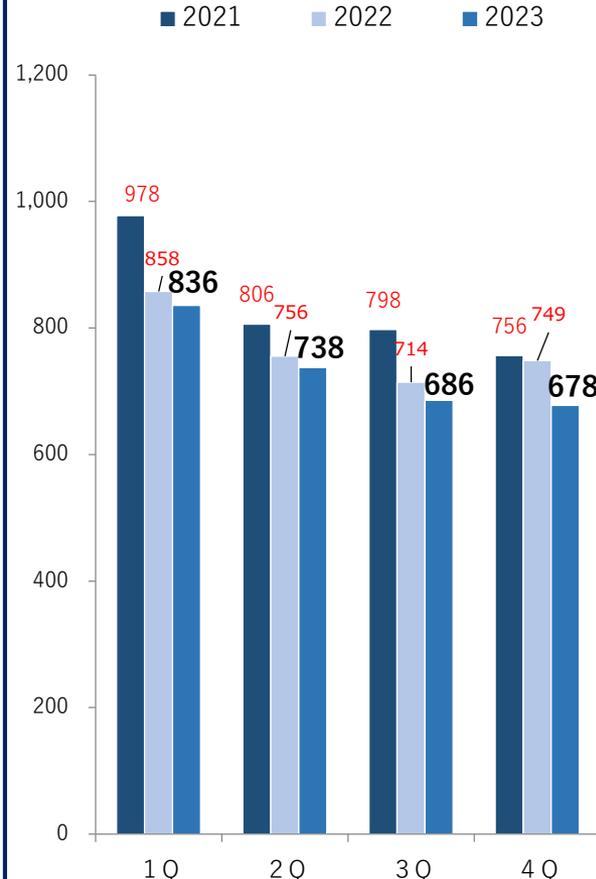
## 貨物情報数

(千件)



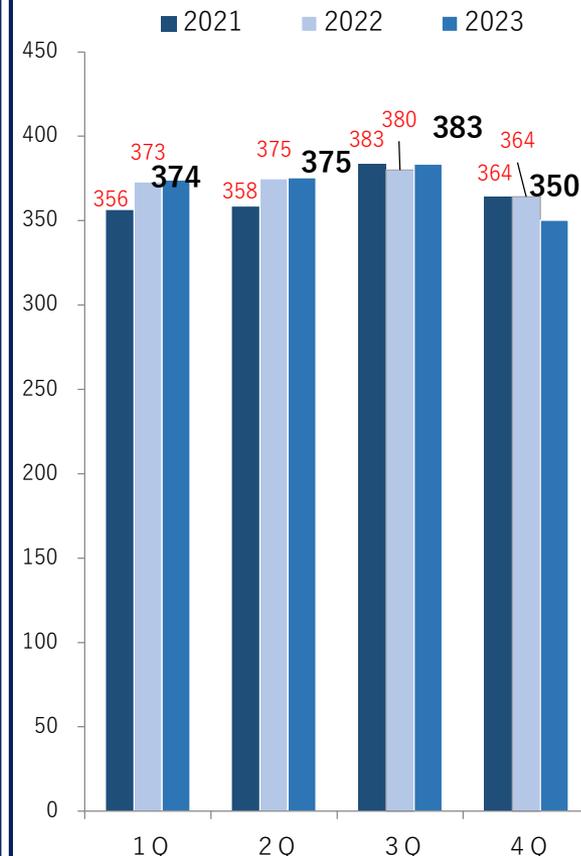
## 空車情報数

(千件)



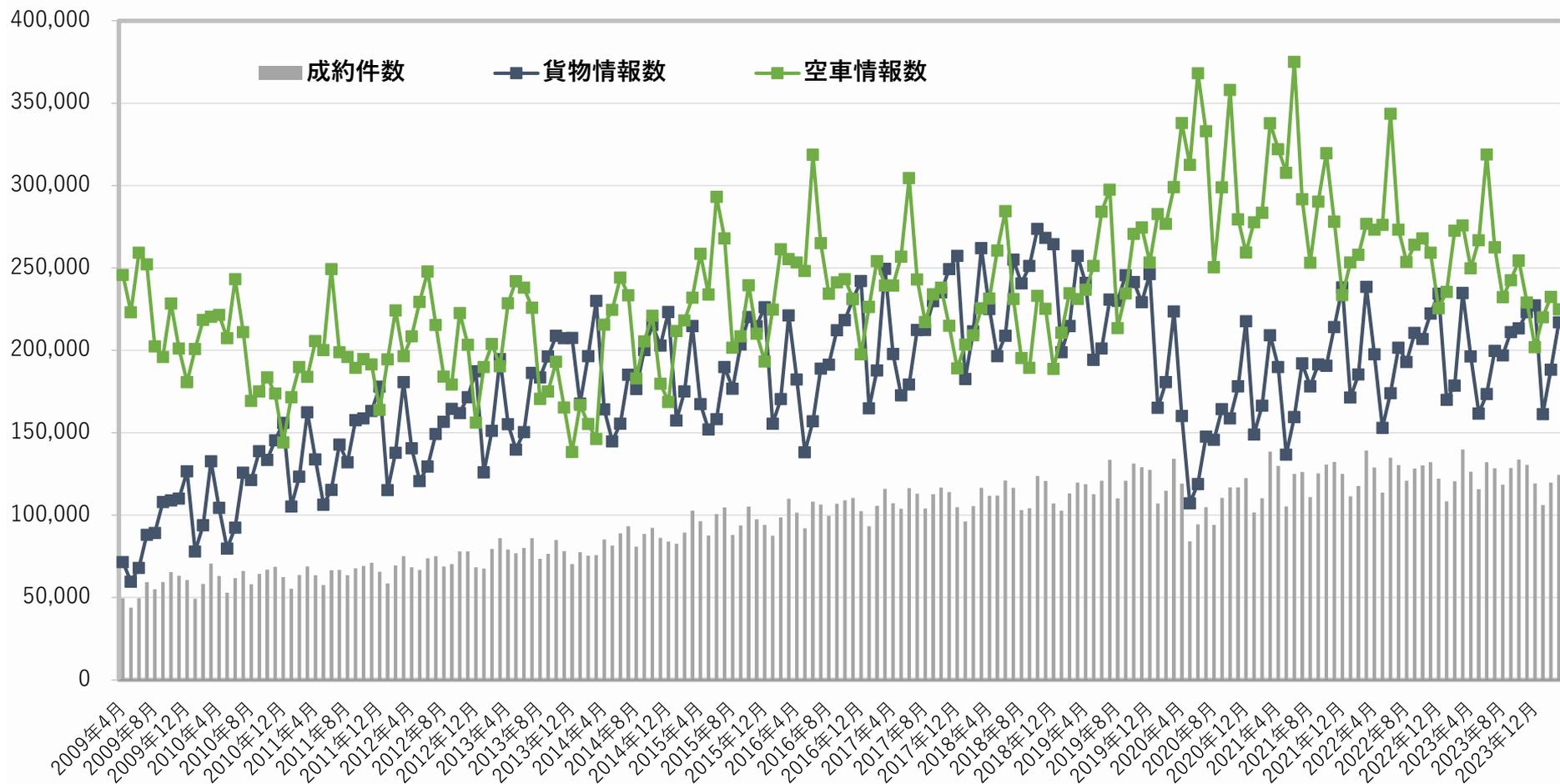
## 成約件数

(千件)



※社内間取引を除く

## 2009年以降の情報件数推移



本資料及びIR関係のお問い合わせにつきましては、  
下記までお願いいたします。

トランコム株式会社  
YOUR LOGISTICS COLLABORATOR

MAIL : ir\_info@trancom.co.jp  
TEL.052-939-2011 FAX.052-939-2015  
www.trancom.co.jp



広報・IRグループ

TEL : 052-939-2023 FAX : 052-939-2015

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。  
将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。